

郷音

山形県立産業技術短期大学校庄内校

【きょうおん】
ふるさとの言葉づかい
国なまりという意。

SHONAI COLLEGE OF INDUSTRY & TECHNOLOGY



【教育振興会会報】 令和5年11月30日発行

第36号



去る令和5年7月31日に、静岡県静岡市のツインメッセ静岡で、第61回技能五輪全国大会職種選考会が開催され、情報通信システム科1年生の小島叶多君が出場しました。午前9時から午後1時までの4時間で、技能五輪全国大会の同職種の問題レベルに解答していきます。この職種は信頼性の高いネットワークとサーバシステムを設計・構築・運用管理することを前提とした、サーバーとネットワーク機器をシナリオ通りに設定していく競技です。

また、同会場にて第18回若年者ものづくり競技大会が8月1日と2日に開催され、業務用ITソフトウェア・ソリューションズ職種に1年生の三浦慶大君が出場しました。この職種は、仮定の業務を想定したシステムの設計と開発、加えてそのシステムのプレゼンテーション能力を競います。三浦君は、4月の入学直後から大会出場に向け、放課後や夏休みと練習に取り組んできました。本番の大会では、自分の考えをまとめ、堂々とプレゼンテーションする姿が見られ、また学生本人にとっても全国から参加する他校の学生の姿も刺激になった様子でした。

目次

ごあいさつ、夢と希望に燃える令和5年度入学生・P2
ごあいさつ・・・・・・・・・・・・・・・・P3
会員企業のご紹介・・・・・・・・P4
各学科の教育活動・PR、
庄内校ホームページのご紹介・・・・・・P5～6
企業実習（体験記）・・・・・・・・P7

卒業研究発表会テーマ一覧・・・・・・・・P8～9
令和4年度進路状況、就職先企業のご紹介、
受賞に輝く卒業生・・・・・・・・P10
令和6年度学生募集、
応援メッセージ寄稿のお願い・・・・・・P11
新任教職員等紹介・・・・・・・・P12



ごあいさつ

山形県立産業技術短期大学校庄内校
教育振興会 会長 加藤 聡

山形県立産業技術短期大学校庄内校は、技術の進展が著しい現代社会に対応できる人材を庄内で育成してほしいという、私たち庄内の産業界の要請に应运えて平成9年に開校され、以来、卒業生は970名を超え、その多くが地元就職し、即戦力として活躍いただいております。

皆様には、学生の企業実習や校外学習などの実践的な職業能力開発へのご支援を賜るとともに卒業生の採用についてもご尽力をいただき、感謝申し上げます。

5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行しましたが、コロナ禍前に戻るのではなく、一歩進んだ社会を創るため若者の柔軟な発想がますます必要になってくるのではないのでしょうか。

当教育振興会としましては、学生が地元企業に定着するよう働きかけていくとともに、庄内校の教育訓練活動への支援をはじめ、地元企業との交流・連携をとおり、地域産業の振興に寄与して参りたいと考えております。

皆様には、今後とも庄内校への温かいご協力をお願いするとともに、会員企業の益々のご繁栄を祈念いたします。

夢と希望に燃える令和5年度入学生



生産エンジニアリング科 伊藤 佳貴

私は、山形工業高校の電子機械科で学んだ知識をさらに深めたいと思いこの学校に入学しました。庄内校の充実した設備を使用して学ぶことで、技能検定(シーケンス制御作業など)の資格を取得したいと考えています。そして、将来はシーケンス制御のような機械制御の知識・技術を活かして地元企業の生産技術向上に貢献できる技術者になりたいです。



情報通信システム科 阿部 蓮

私は将来、IT社会に貢献できるような人間になりたいです。その目標に向けて大学生活では資格取得や学習に励んでいます。入学してから環境も一変し、自分の知らない知識、新しいものの見方を知ることが出来るというのはとても楽しいことで充実した毎日を送っていますが、実際に実習を行うとなるとわからないこともあり、時々焦りが生まれる時もあります。ですが、友人はそんな私にも教えてくれ、とても感謝しています。

しっかりとした知識と責任感を持ち、社会で必要とされる存在になれるようにさらに努力していきたいと思います。



IT会計ビジネス科 大川 滉平

私は就職活動のためにも、色々な資格を取得したいと思い、当校に入学しました。そこで簿記という資格に出会い、この知識をもっと身に付け、仕事に活かしたいと思いました。私は普通科出身だったので、簿記の知識も全く無く授業についていけないか不安でしたが、当校の特徴である少人数授業のおかげで、授業時間に対して内容が充実していて、意欲的に取り組むことができます。

私は、これからも簿記だけでなく様々な資格の取得に勤しんでいきたいと思っています。



ごあいさつ

山形県立産業技術短期大学校庄内校
校 長 佐 藤 俊 一

教育振興会会員の皆様には、日ごろから、本校の学校運営、学生の教育訓練、企業実習や就職などにつきまして、多大な御支援や御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

私は、令和5年4月に第5代の校長として就任いたしました。これまでの校長は、技術系の研究者が務めてまいりましたが、私は、長年、高校教育の現場を歩んでまいりました。本校と高等学校との連携をこれまで以上に密にしていけることが、私の役割の一つであり、本校と高等学校の橋渡しを担えればと考えております。

さて、今年は32人の新入生を迎え、学生たちは密度の濃い充実した学生生活を送っております。学校運営もお陰様で順調に推移しております。本校では、最新の教育機器・機材を用い、経験豊かな教員による少人数教育と実践教育により、優れた実践的技術者を輩出してまいりました。卒業生は通算970人余り、その多くが県内有力企業を中心とした地元企業に就職し、地域産業を支えております。これからも急激に変化する科学技術の進歩に追随し、高度化、多様化、さらには情報化が進展する産業構造に対応できる、柔軟性と創造性を備えたエンジニア、豊かな感性とコミュニケーション能力を身に付け、たくましく課題解決に向かう有為なる産業人を育成してまいります。

加えて、昨年の構造改革特区法の改正により、令和7年4月から本校の修了生が山形大学工学部3年時に編入することが可能となります。本校2年間で身に付けた高度実践的な技術力に加え、大学において研究開発力やマネジメント力を進化させた高度人材の育成に期待が持たれます。

私たちは、地域から志ある若者をお預かりし、求められる技術や知識を身に付けさせ、そしてまた地域にお返しすることを最大の使命と考えております。いわば地域の未来を創る仕事といえます。これまで、会員の企業様をはじめ地元企業の皆様の御理解と御協力により、卒業生の多くが地元企業に就職しておりますが、高等学校や行政とも連携を深め、引き続き、若手産業人材の育成と地元定着を図っていきたいと考えておりますので、会員の皆様からも変わらぬ御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げ、あいさつといたします。

OBISAN オビサン株式会社

■ 会社概要

創 業	明治31年 5月
設 立	昭和16年12月
資 本 金	3,670万円
代 表 者	代表取締役社長 小嶋寛之
従 業 員 数	グループ総数137名(男性100名、女性37名)
所 在 地	山形市流通センター1-9-2
庄 内 支 店	山形県酒田市京田2-69-2
URL	https://www.obisan.co.jp



■ 地域のあらゆるビジネスシーンに「専門力」×「総合力」で応えます。

当社は『ネットワーク&オフィス』と『産業資材(紙・包装資材)』を事業分野とする企業です。

『ネットワーク&オフィス』は、オフィスや建築施設の事業空間をソフト・ハード両面でレイアウトし、またオフィスデジタル機器の設置や保守メンテナンス、システム・アプリケーション開発など技術サービスを提供します。

『産業資材(紙・包装資材)』は、製造・生産、流通・物流プロセスに必要な包装・出荷資材、パッケージ、包装機械、印刷用紙を販売します。

私たちは1898年の創業から、多岐にわたる顧客ニーズに応えてきました。オフィスや施設環境のプランニングと、デジタル機器やアプリケーション構成、セキュリティ・ネットワーク構築を総合的にプロデュースできる強みを持ちます。

■ 庄内校卒業生の活躍状況

現在当社で活躍している、庄内校の卒業生は4名。

学校で学んだ知識を生かし、システム・アプリケーション開発やデジタル機器・複合機の設定、保守メンテナンス業務に携わっています。

当社は日々進化する技術のため、基本と実践的な技術を学んでいる人材を必要としています。基本と実践的な技術を学ぶ庄内校の卒業生が、学校で学んだ知識を活かして、当社で活躍してくれることに、大きな期待を寄せています。



▲ 産技短庄内校OG(2023年入社)
《プログラマー》



▲ 産技短庄内校OB(2022年入社)
《カスタマーエンジニア》

新型コロナも5類に移行して以前の状況に戻っていくところかも知れませんが、まだまだ陽性者の収まりは先が見えない状況と思われます。本科としても、昨年度から企業訪問や展示会見学などの校外学習や休止していた地元産業展での展示なども行えるようになりました。今年度は競技会への参加なども行い、以前のような状況に近づいた感があります。今後も対策を続け、少しずつかもしれませんが授業はもちろん、就職活動や資格取得なども進めていきたいと思っております。会員企業の皆さまにおかれましても、これまで以上のご支援、ご指導をよろしくお願いいたします。

今後ともご指導の程、よろしくお願い申し上げます。

IT 会計ビジネス科

平素より当科の教育活動にご理解・ご支援をいただきありがとうございます。この度は令和 4 年度の資格試験の合格実績を報告させていただきます。

企業会計分野におきましては、日商簿記検定 2 級に 6 名が合格しております。近年、日商簿記検定 2 級は出題傾向が変化し合格率(全国平均)の低い状況が続いておりましたが、当科では新傾向に対応した指導を行うとともに、新たに設けられたネット試験を有効活用し、複数の合格者を輩出することができました。

ビジネス情報分野におきましては、日商 PC プロフェッショナルに 6 名が認定されました。日商 PC プロフェッショナルは、日商 PC 検定の「文書作成」、「データ活用」、「プレゼン資料作成」の 3 つの試験において、いずれも 2 級以上に合格した者に、企業実務で求められる高度な IT 活用能力を有する証として、「日商 PC プロフェッショナル認定証」が交付される制度です。

さらに、令和 3 年度より地域の産業構造に対応し、新たに医療事務分野をカリキュラムに加えましたが、当分野におきましても 3 名の学生が「医療事務技能審査試験」に合格し、メディカル・クラーク®(医科)に認定されました。メディカル・クラーク®(医科)は、診療報酬請求事務業務や窓口業務など医療事務職として求められる能力を備えていることを証明する資格とされております。

今年度も引き続き有用な人材を供給できるよう学生を指導していくとともに、教育振興会会員企業様をはじめとする地元企業の皆さまや地元の各組織・団体の皆さまと緊密に連携し、地域の課題に向き合ってまいりますので、なお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

「山形県立産業技術短期大学校庄内校ホームページ」のご紹介

学校案内動画や学科案内、学校からのお知らせを掲載しております。
多くの皆さんに庄内校の取組みをご覧いただければ幸いです。

『教員紹介』のページでは、本校の教員の専門分野や日ごろ行っている教育研究活動を紹介しています。

また、『紀要』は、教育研究活動の一端をまとめたものを掲載しています。

これらの情報は、多くの皆様に読んでいただくことにより、本校の教育研究活動をご理解いただくのみならず、皆様と本校教員との共同研究・技術相談など、今後より一層推進されるものと期待しています。



庄内校 HP アドレス : <https://www.shonai-cit.ac.jp/>

「庄内校 HP」
QR コード



「教員紹介」
QR コード



「紀 要」
QR コード



全学科企業実習

(昨年度の実績から)

学生が企業社会の実情に触れ、職業人としての自覚と学習意識の向上を図るため、3学科の1年生全員を対象に11月から2月にかけて企業の皆様のご協力を得て、企業実習を実施しました。

＜令和4年度の実績＞

実習先：東北電機鉄工株式会社

生産エンジニアリング科2年 後藤 優太

私は東北電機鉄工株式会社で5日間企業実習に行ってきました。私は主に工場での旋盤加工を行いました。旋盤では、材料の取り付けからダイヤルゲージを使った中心出し、加工までさせていただきました。ダイヤルゲージを使用した中心出しは、学校では機会がなかったので、このような体験ができたことは、とてもいい経験になったと思います。

今回の経験は、入社してから必ず役立つことなので、旋盤作業はもちろん、様々な作業に活かせるように頑張ります。

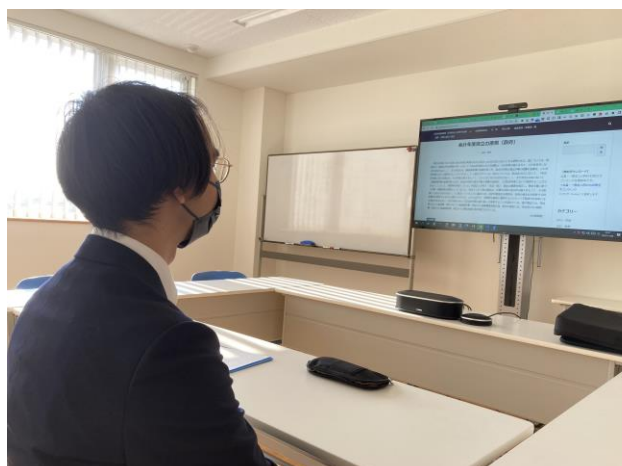


実習先：キューブワン情報株式会社

情報通信システム科2年 阿部 広平

私は、地域密着型IT企業のキューブワン情報株式会社様にて、地元企業への最適な情報機器とソフトウェアの提案を始め、幅広い業務を体験させていただきました。保守・開発が容易にできるノーコード・ローコード開発から実践的で専門的なAI開発を行いました。また、自治体・医療機関と一般企業では、営業内容や開発手順に差異があり、本校では学ぶ機会が少ない公的な機関に向けた開発をするIT企業で必要となる要素を多岐に渡り暖かくご教授頂きました。

多忙の中、貴重な機会を下さりましたキューブワン情報株式会社の皆様には、この場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。



実習先：TDKエレクトロニクスファクトリーズ株式会社

IT会計ビジネス科2年 木村 悠宇介

私はTDKエレクトロニクスファクトリーズ株式会社で企業実習をさせていただきました。

経理部の皆様が業務内容について詳しく説明してくださったり、固定資産業務と経費精算業務を一部実習したりなどここでは書ききれない程、学校の授業だけではわからない多くの貴重な経験をさせていただきました。

私はこの企業実習先であるTDKエレクトロニクスファクトリーズ株式会社に経理として内定をいただきました。これまで学んだこと、そして残りの学校生活での学びを活かし、来年度より仕事に心血をそそいで参ります。



(紙面の都合上、受入れいただいた企業への感想等全てを掲載できなかったことをご容赦ください。)

卒業研究発表会 『テーマ』 一覧《令和4年度卒業生》

令和5年2月22日、本校の大講義室等において、生産エンジニアリング科及び情報通信システム科の卒業研究発表会を開催しました。2年間の集大成として取り組んだテーマの要旨を掲載しています。詳しくお知りになりたい場合は、指導教員にお問い合わせください。

なお、卒業研究発表会の発表動画は、令和5年3月14日（火）から令和5年6月30日（金）までオンデマンドで配信しました。

学科名 生産エンジニアリング科

番号	テ ェ マ	概 要	発表学生	指導教員
1	技能五輪全国大会プラスチック金型職種の課題製作	技能五輪プラスチック金型職種課題のうち、実際に金型を作成する課題に取り組み、金型製作の技術と知識を習得することを目標とする。なお、実際の大会では汎用フライス盤を用いて金型加工を行うが、今回はCAMやNC加工機について学ぶため、マシニングセンタで金型加工を行う。	小笠原 奏太 鈴木 慶也	多田 淳
2	不整地走行車両の製作	農耕地などの足元の条件の悪い路面で荷物運搬を目的とする作業用車両の製作を行う。	佐藤 蓮	宮下 智
3	段差を乗り越えられる移動車両の製作	屋内で階段などの段差や溝がある通路で移動ができる車両の製作を行う。	渡会 寛人	宮下 智
4	エコラン競技車両の製作	本田宗一郎杯 Honda エコマイレージチャレンジ全国大会出場に向けた車両を製作（改善）する。	栄田 純大	津田 勇
5	教育用空気圧実験装置の改善	昨年度制作した装置は、条件変更による変化がわかりにくかった。今年度は実験結果がわかりやすく、操作性の良いものに改善する。	高橋 幸造	津田 勇
6	ネットワークを用いた制御システムの製作	プログラマブルコントローラによるシーケンス装置と視覚化、集約管理などを可能とする表示器をネットワーク(Ethernet)により連携した制御システムの構築を目指す。	伊藤 隼人	佐藤 義則
7	シーケンス制御作業2級マニュアルの改良	スムーズな知識習得と、多くの合格者を出すことを目的としたマニュアルの作成を目指す。	佐藤 光翼	佐藤 義則
8	エレベーター模型の製作	2基のエレベーターを実現するための連携した動作などを実現させる制御システムの製作を目指す。	堀 優士	佐藤 義則
9	機械工作実習室の5Sの実践と工具台の改善	機械工作実習室にあるNCフライス盤まわりの5Sを実践し旋盤、フライス盤で使用する工具台を改善した。	今野 宏昭	飛田 成浩
10	技能検定機械検査2級計画等立案作業試験教材の開発	技能検定機械検査2級計画立案作業試験で出題された問題の類似部品を製作し、作業手順および測定具の使い方などをテキストにまとめた。	菅原 眞	飛田 成浩
11	OpenPLCを用いたシーケンス制御システムの構築	統一規格IEC61131-3の学習にOpenPLCを導入し、実際に実習で製作したターンテーブル装置の制御を行った。	岩城 朋希	新居 徹哉
12	ビジュアルプログラミング言語で動かす移動ロボットの製作	移動ロボットのプログラム環境としてBlocklyを利用し、プログラム製作の容易なAGV(無人搬送車)システムを製作し、協働ロボットと組み合わせた誰にでもプログラムの製作・改修が行える移動・搬送・作業ロボットシステムを構築した。	本間 康介	新居 徹哉
13	3Dプリンタを用いた協働ロボット用食品チャックの製作	幅広い分野での活躍が期待されている協働ロボットだが、食品工場などの現場では不定形で把持が難しい対象のハンドリングが必要になるなどの問題がある。そこで、3Dプリンタを用いて現場のニーズにあわせて容易に変更が加えられるチャック(手先部品)の研究・製作を目指す。	石川 雄大	新居 徹哉

番号	テ マ	概 要	発表学生	指導教員
1	気象庁 GRIB2 フォーマットのパーサーの開発	日本の気象庁は独自の仕様で拡張書き出しを行っている、GRIB2 では一部しか取り出すことができない。そのため、GRIB2 から任意のデータを読み出せるようにするには、パーサーの開発が必要となってくる。その開発に対して、イベントストリーミング機構を利用した ETL 基盤で利用できるようにする研究開発を行った。	伊藤 肇 鈴木 章祐 高橋 あい	関沼 和広
2	津波災害避難支援アプリの開発	災害発生時、特に津波発生時は、津波到達時間までの短時間で避難しなければならず、現在地から適切な避難所を判断する必要があるため、庄内地域で利用可能な避難支援用のスマートフォンアプリを開発した。 本アプリによって、現在地の標高、浸水想定区域か否か、近隣の避難場所が見える化され、近隣の避難場所までのナビゲーションが可能となった。	佐藤 真護 藤原 志恩 小野寺 智大 渋谷 悠太	工藤 智子
3	画像認識による個人判別と自動検温を行う IoT システムの開発	新型コロナウイルス感染拡大後、組織内での日々の健康チェックの徹底が求められているが、計測するのが手間であることや、組織で管理するための工数が必要となることなど、課題がある。 そこで本研究では、カメラの画像から個人の検出・判別するとともに、その個別の体温を記録することにより、組織内の体調を一元管理する IoT システムを開発した。これにより、体温を自動計測することができることと、組織内での管理工数についても低減することができる。	小林 琉生 西塚 天音 長南 弥真斗	芝田 浩
4	ストレス解消のための運動支援システムの開発	VR 環境「VRChat」に、アバターを利用して遠隔地の人と気軽にコミュニケーションを取ったり、ストレス軽減に有効な運動ができるワールドを用意して、ストレス値や運動量を計測できるシステムを開発した。これにより、利用者は楽しくストレスを軽減することができる。	森屋 暁 岡本 綾乃 飛塚 尚弥 日向 亜蘭	吉田 明弘

ゼミナールのポスターセッション 《令和4年度卒業生》

令和5年2月24日、IT会計ビジネス科のポスターセッション（成果発表）を実施しました。卒業生全員が本校における学びの集大成として、各自の研究成果や在学中の資格取得に関する取り組みの内容をポスターにまとめ発表を行いました。



令和4年度 進路状況

学科名	項目 卒業生	就 職 希望者	就 職 内定者	地 域 別 内 訳						就 職 内定率 (%)
				庄 内 地 区	村 山 地 区	最 上 地 区	置 賜 地 区	県内 計	県外 計	
生産エンジニアリング科	14	14	14	13	0	1	0	14	0	100
情報通信システム科	14	14	12	9	0	1	0	10	2	86
IT 会計ビジネス科	10	10	10	7	1	0	0	8	2	100
計	38	38	36	29	1	2	0	32	4	95

就職先企業のご紹介（五十音順・敬称略）

生産エンジニアリング科	情報通信システム科	IT 会計ビジネス科
ALSOK 山形株式会社	オビサン株式会社	アイリスオーヤマ株式会社
株式会社庄内クリエート工業	オリエンタルモーター株式会社鶴岡中央事業所	余目町農業協同組合
袖浦農業協同組合	株式会社 JVC ケンウッド山形	庄内みどり農業協同組合
大東工業株式会社	株式会社高砂製作所鶴岡事業所	セコムエンジニアリング株式会社
TDK エレクトロニクスファクトリーズ株式会社	TDK エレクトロニクスファクトリーズ株式会社	東北エプソン株式会社
テクマン工業株式会社	東北エプソン株式会社	株式会社日情システムソリューションズ
東北電機鉄工株式会社	株式会社東北情報センター	株式会社プレステージ・インターナショナル山形BPOパーク
パイプラインエンジニアリング株式会社	株式会社日情システムソリューションズ	株式会社山形共和電業
株式会社マスコエンジニアリング	函館市医師会健診検査センター	ヤマリョー株式会社
日特コーセイ株式会社	バクフー株式会社	
	フジテック株式会社	
	株式会社プレステージ・インターナショナル山形BPOパーク	

受 賞 に 輝 く 卒 業 生

令和4年度卒業式が3月20日に行われ、卒業研究や2年間の学業成績が特に優秀だった学生、学習へ取り組む姿勢や日常活動が他の模範となった学生が表彰されました。

山形県知事賞	情報通信システム科	伊 藤 肇
学校長賞	生産エンジニアリング科	佐 藤 蓮
	IT 会計ビジネス科	木 村 路子
教育振興会長賞	生産エンジニアリング科	岩 城 朋 希
	情報通信システム科	長 南 弥真斗
	IT 会計ビジネス科	高 野 珠 美



山形県知事賞を受賞する伊藤 肇さん

令和6年度学生募集

令和6年度入学の学生を募集しています。

ものづくり、プログラミング、企業経営に興味のある方は、ぜひ庄内校で学んでみませんか。

1 募集科・募集定員

生産エンジニアリング科 … 20名

情報通信システム科 … 20名

IT会計ビジネス科 … 20名

[情報技術者実践コース（実践コース）
情報技術者基礎コース（基礎コース）]

2 入学試験日程

	出願期間	試験日	合格発表	入学手続期間
推薦入学試験	10月23日(月) ～	11月11日(土)	11月16日(木)	11月20日(月) ～
社会人特別入試（第1期）	11月6日(月)			12月4日(月)
一般入学試験（前期）	11月13日(月) ～	12月2日(土)	12月7日(木)	12月11日(月) ～
社会人特別入試（第2期）	11月27日(月)			12月25日(月)
一般入学試験（中期）	12月25日(月) ～	1月27日(土)	2月1日(木)	2月5日(月) ～
社会人特別入試（第3期）	1月22日(月)			2月19日(月)
一般入学試験（後期）	3月4日(月) ～	3月21日(木)	3月25日(月)	3月25日(月) ～
社会人特別入試（第4期）	3月15日(金)			3月28日(木) ^{※1}

※1 入学手続期間は、3月28日(火)12時まで

3 募集区分と試験科目

凡例：「数学Ⅰ／面接」（教科試験科目が数学Ⅰで、面接がある）

		生産エンジニアリング科	情報通信システム科		IT会計ビジネス科
			実践コース ^{※1}	基礎コース	
推薦	一般	数学Ⅰ ^{※2} ／面接	－／面接	数学Ⅰ／面接	作文／面接
	指定校	－／面接	－／面接		－／面接
一般	前期	数学Ⅰ／面接	数学Ⅰ／面接	数学Ⅰ／面接	小論文／面接
	中期				
	後期				
社会人特別		数学Ⅰ／面接			－／面接

※1 ITパスポート試験、情報セキュリティマネジメント試験、基本情報技術者試験のいずれかの合格者

※2 技能検定（3級以上）合格者は、数学Ⅰの試験免除制度あり

4 卒業後に編入学が可能な学校

庄内校からさらに進学する魅力がふえました。

（1）山形大学工学部3年次（令和7年4月～）

（2）職業能力開発大学校応用課程

注 いずれも対象学科は、生産エンジニアリング科、情報通信システム科

「産技短庄内校への応援メッセージ」寄稿のお願い

産技短庄内校では、企業の皆様からの学校・学生を応援するメッセージ（貴社の概要と本校卒業生の活躍、貴社に入社して活躍してくれることを期待する等）を募集しております。

頂戴しましたメッセージは、本校学生の就活講座や就職情報コーナーで情報提供するほか、高校生及びその保護者向けに発信し、当校とともに、貴社につながる進路選択の果的なPRに活用したいと存じます。

ご賛同いただけましたら、庄内校ホームページ「企業の皆様へ」のバナーから様式を入手いただくか、当校教務学生課へお問い合わせください。

庄内校 HP
企業の皆様へ
QRコード



教 員



講師（情報通信システム科） 三浦 彰人

4月より情報通信システム科でお世話になっております、三浦と申します。酒田市内の出身で、これまで複数の大学で教職員として従事してまいりました。

専門は情報システム学で、情報セキュリティやネットワーク、システム運用などをはじめ、昨今ではAI技術を用いたシステムの開発や、3DCGを用いたコンテンツ制作といった新しい技術にも幅広く取り組んでおります。学生の知識・スキルの向上や地域産業の発展に貢献できるよう、鋭意努力していく所存です。よろしくお願いいたします。

事 務 局



副校長（兼）事務局長 佐藤 圭次

4月に副校長兼事務局長を拝命いたしました。本校は地元の若者を2年間お預かりし、しっかりと知識・技能を身に付けていただき、地元にお返しすることが大切な使命であると考えております。皆様の期待に応えられるよう、教育振興会の会員の皆様の御協力もいただきながら、職責を果たしてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



総務課長 富樫 敬志

4月から庄内総合支庁から赴任しました。これまで福祉事務所や児童相談所、病院などに勤務した経験がありますが、学校職員として、総務担当して初めての経験になります。学生のみなさんや教職員のみなさんが安心して学校生活を送れるよう、また教育振興会の皆さまとの窓口としてお役に立てるよう頑張りたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



教務学生主査 山本 貴

この4月に庄内保健所から赴任しました。毎日、学生の若いエネルギーに刺激を受けています。2年間の学生生活が充実したものになるよう、授業や学校行事等のサポートに努めて参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。



高校連携コーディネーター 小関 剛

庄内、最北、置賜、村山と県内全学区で40年間、高校の教育活動に携わってきました。この4月から高校連携コーディネーターとして、高校、そこで学ぶ生徒たちと本校を結び役割を拝命しました。産技短庄内校には地域から大きな期待が寄せられていると思います。今の高校を取り巻く課題を念頭に、高校生から目を向けてもらえるよう頑張っていきたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。



庶務・会計事務員 渡部 久美子

4月から総務課でお世話になっております。

学生の皆さんと接する機会は少ないかもしれませんが、充実した思い出に残る学校生活を送れるよう、お手伝いできればと思っております。

どうぞよろしくお願いいたします。

編 集 発 行

山形県立産業技術短期大学校庄内校教育振興会

〒998-0102

山形県酒田市京田三丁目57番4号

TEL0234-31-2300・FAX0234-31-2770

編 集 後 記

新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが2類相当から5類に変更され、季節性インフルエンザと同様の取扱いになりました。教育振興会総会も4年ぶりに対面での開催ができ、各種大会や研修も実施しています。会員の皆様には、これからも温かい御支援をお願いいたします。